

日本都市計画学会関西支部
第6回研究発表会プログラム

2008.7.26(土) 於:大阪市立大学文化交流センター・ホール

10:00-10:05 開会挨拶(支部長:榊原和彦[大阪産業大学])			
10:05-11:30 セッション 座長 高谷基彦 (京都市)	1	池田尚基, 金澤成保 神鋼電機株式会社	西国街道郡山宿の景観の現状と変化
	2	塩田 定俊, 吉川 眞, 田中 一成 大阪工業大学大学院 工学研究科	伝統的街並みの変遷
	3	近藤 幸介, 林田 大作 和歌山大学大学院 システム工学研究科	佐野町場における民家群の外観的特徴に関する研究
	4	織野 祥徳, 吉川 眞, 田中 一成 大阪工業大学大学院 工学研究科	姫路城の景観分析
	5	武田 行剛, 加我 宏之, 下村 泰彦, 増田 昇 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科	大阪市指定保存樹を事例とした景観重要樹木選定のための評価の試み
	6	藤田剛士, 黒崎知子, 松村 歩, 松本邦彦, 柴田 祐 大阪大学大学院 工学研究科	超高層マンションが上町台地の地域イメージに与える影響
総括			
11:30-11:40 休憩			
11:40-13:05 セッション 座長 川田 均 (大阪市)	7	大山 侑子, 林田 大作 和歌山大学大学院 システム工学研究科	中心市街地活性化計画策定都市におけるまちなか居住推進の現状と課題
	8	羽田 拓也, 久 隆浩 フリープランナー	社会起業家のライフヒストリー分析による起業要因の考察
	9	一岡 翔太郎, 鳴海 邦碩, 加賀 有津子 西日本旅客鉄道株式会社	地域ブランドの価値構造に関する研究~滋賀県長浜市を事例にして~
	10	中野 久美子, 李 暎一 都市ブランドデザイン研究所	都市ブランドの構築のための食環境デザインに関する研究
	11	森山 敏夫, 佐々木 伸司, 林 卓也 尼崎市都市整備局計画部	生産環境・商業環境保全を目的とした特別用途地区の活用実態とその課題 - 尼崎市における地区指定事例の分析を通じて -
	12	遠藤 祐希, 福島 徹 兵庫県立大学大学院 環境人間学研究所	住工混在地域における特別用途地区の運用実態について
総括			
13:05-14:00 昼食			
14:00-15:25 セッション 座長 久 隆浩 (近畿大学)	13	十佐近侑里, 林田 大作 和歌山大学大学院 システム工学研究科	地方中核都市における駅舎構造と駅を中心としたまちづくりに関する研究 - JR和歌山駅とJR金沢駅の比較考察 -
	14	高橋 梢, 内村 雄二 福井工業大学大学院 工学研究科	魚市場・卸小売空間と地域が一体となった内発的まちづくりに関する考察 - 敦賀市舟溜り地区におけるWSによる任意の地区計画的取り組みを事例として -
	15	森田 舞, 八木 雅夫 明石工業高等専門学校	伝統的な町なみの残る旧宿場町における社会的衰退の現状と地域再生に対する住民意識 - 因幡街道大原宿を事例として -
	16	宮山 泰明, 上甫木 昭春 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科	神戸市における専門家派遣制度によるまちづくりの実態に関する研究
	17	栃本 真理乃, 澤木 昌典, 柴田 祐	創造的活動の広がりによる都市の活性化に関する研究 大阪市におけるアートを利用した活動を事例として
	18	岸野 麻衣子, 萬田 剛史, 角野 幸博 関西学院大学大学院 総合政策研究科	観光統計指標に関する基礎的研究 - 兵庫県篠山市を事例に -
総括			
15:25-15:35 休憩			
15:35-17:00 セッション 座長 田原直樹 (兵庫県立大学)	19	西川 文香, 加我 宏之, 下村 泰彦, 増田 昇 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科	泉北ニュータウンの緑環境の変化と居住者の評価に関する研究
	20	山岸 明日香, 梅田 絵里子, 松本 邦彦, 澤木 昌典 大阪大学大学院 工学研究科	工業系地域における集合住宅の外構緑地に関する研究
	21	仙波 拓也, 吉川 眞, 田中 一成 大阪工業大学大学院 工学研究科	京都における竹林景観の分析
	22	今井 真理, 李 暎一 都市ブランドデザイン研究所	都市ブランドの構築のための香りに関する研究 - 場所と香りの関係に着目して -
	23	嶋田 圭佑, 田中 一成, 吉川 眞 大阪工業大学大学院 工学研究科	外部空間における内部性とアメニティ~音による空間把握~
	24	山口 容平, 有城 文博, 東真太郎, 下田 吉之 大阪大学大学院 工学研究科	建築ストックの集積状況とエネルギー消費の関係 - 大阪市の業務建築を例として
総括			
17:00-17:05 閉会挨拶(研究発表委員会委員長:下村泰彦[大阪府立大学])			

注) 1題あたりの持ち時間は13分(原則として、発表8分・質疑5分)ですが、質疑を一括して行う場合があります。